

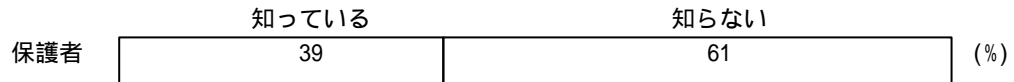
教育庁実施事業改善調書（平成17年度実施事業）

保健体育課

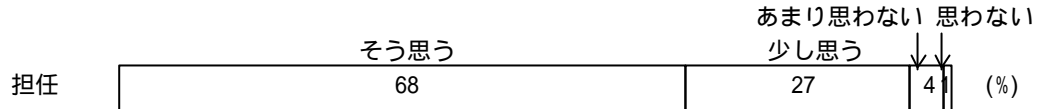
事業名	たくましい心と体の育成推進事業（スポーツランキング）	事業開始年度	平成17年度																																																												
事業の目的	体力向上を図るとともに、好ましい人間関係や社会性を養う。																																																														
事業の概要	<p>縄跳びなどの全身運動を伴うゲーム10種目を、学校のクラス単位又はグループで、昼休み、放課後等に行い、その記録をインターネット上で競い合う「スポーツランキング」を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象 小学校、中学校、高校、盲・聾・養護学校の児童生徒</li> <li>・種目 連続8の字跳び チームジャンプ ダブルダッチ 連続二重跳び 短なわ連続跳び スイムスイムスイム 連続さか上がり 一輪車スラローム フリースローゲーム ベストマラソンランナー</li> <li>・決勝大会 「連続8の字跳び」、「ダブルダッチ」及び「一輪車スラローム」の3種目は、小学生のランキング上位10チームが一堂に会して、「スポーツキッズ・チャレンジ大会」を年1回開催する。</li> </ul>																																																														
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力の向上</li> <li>・友だちと協力して取り組むことにより、好ましい人間関係や社会性が身につく。</li> </ul>																																																														
アンケート調査結果	<p>調査対象 児童 小学生3年生 187名、小学生6年生 221名 保護者 小学生3年生保護者・6年生保護者 333名 教員 学級担任 84名</p> <p>児童：「スポーツランキング」の運動にチャレンジするとき、楽しいと思いませんか。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>思う</td> <td>思わない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3年生</td> <td>87</td> <td>13</td> <td>(%)</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>そう思う</td> <td>少し思う</td> <td>あまり思わない</td> <td>思わない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6年生</td> <td>57</td> <td>35</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>(%)</td> </tr> </table> <p>児童：「スポーツランキング」の運動にチャレンジすることで、友だちと仲良くなると思いませんか。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>思う</td> <td>思わない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3年生</td> <td>81</td> <td>19</td> <td>(%)</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>そう思う</td> <td>少し思う</td> <td>あまり思わない</td> <td>思わない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6年生</td> <td>41</td> <td>42</td> <td>14</td> <td>3</td> <td>(%)</td> </tr> </table> <p>児童：「スポーツランキング」にチャレンジしたことで、体がきたえられたと思いませんか。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>思う</td> <td>思わない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3年生</td> <td>85</td> <td>15</td> <td>(%)</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>そう思う</td> <td>少し思う</td> <td>あまり思わない</td> <td>思わない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6年生</td> <td>47</td> <td>40</td> <td>10</td> <td>3</td> <td>(%)</td> </tr> </table>				思う	思わない		3年生	87	13	(%)		そう思う	少し思う	あまり思わない	思わない		6年生	57	35	6	2	(%)		思う	思わない		3年生	81	19	(%)		そう思う	少し思う	あまり思わない	思わない		6年生	41	42	14	3	(%)		思う	思わない		3年生	85	15	(%)		そう思う	少し思う	あまり思わない	思わない		6年生	47	40	10	3	(%)
	思う	思わない																																																													
3年生	87	13	(%)																																																												
	そう思う	少し思う	あまり思わない	思わない																																																											
6年生	57	35	6	2	(%)																																																										
	思う	思わない																																																													
3年生	81	19	(%)																																																												
	そう思う	少し思う	あまり思わない	思わない																																																											
6年生	41	42	14	3	(%)																																																										
	思う	思わない																																																													
3年生	85	15	(%)																																																												
	そう思う	少し思う	あまり思わない	思わない																																																											
6年生	47	40	10	3	(%)																																																										

アンケート調査結果

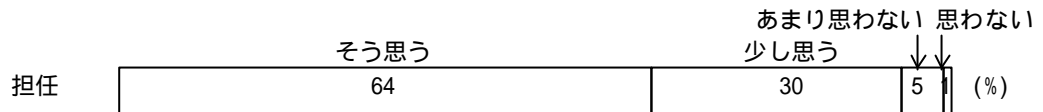
保護者：「スポーツランキング」のことを知っていますか。



教員：「スポーツランキング」は、仲間づくりに役立っていると思いますか。



教員：「スポーツランキング」は、体力向上に繋がると思いませんか



調査結果の分析

- ・小学校3年生は、87%が「楽しい」、81%が「友だちと仲よくなる」、85%が「体がきたえられる」、6年生は、「そう思う」「少し思う」を合わせて、92%が「楽しい」、83%が「友だちと仲よくなる」、87%が「体がきたえられる」と答えている。
- ・スポーツランキングについて知っている保護者は39%で、認知度は低い状況にある。
- ・学級担任は、「そう思う」「少し思う」を合わせて、95%が「楽しく取り組んでいる」、96%が「仲間づくりに役立っている」、94%が「体力向上に繋がっている」と答えている。

関連データ

県内小学生の「体力・運動能力調査(体力テスト)」総合評価「A」及び「B」の割合

平成15年度	37.7%
平成16年度	39.3%
平成17年度	40.9%

体力テスト：「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「反復横跳び」「20メートルシャトルラン」「50メートル走」「立ち幅とび」「ボール投げ」の8項目について、各項目10点満点で採点した得点を合計し、A(最上位)～Eの5段階で評価する。

平成17年度「スポーツランキング」参加実績

学 校	参加チーム数	参加者数
小学校	10,359チーム	258,348人
中学校	3,168チーム	73,365人
高校	276チーム	4,007人
盲・聾・養護学校	2チーム	26人

今後の方向

全ての小・中学校から「スポーツランキング」への参加があり、10種目で延べ約33万人の児童生徒が取り組んだ。児童、担任のどちらにも好評で、体力づくりだけではなく、友達づくりにも繋がっていることがうかがえるため、今後も継続して実施したい。

18年度は、小学校の全学級参加を目指して、種目内容や実施方法等について改善を行い、さらに積極的な参加を促して体力向上を図っていききたい。

また、保護者の認知度が低いので、家庭の理解と協力が得られるよう、リーフレットの作成して県内小・中学生全家庭へ配布するなどのPRを行っていききたい。